

## 『小泉文夫』

ひの まどか (著)

ヤマハ, 2022

ISBN:9784636977295

請求記号:762.111H61

配置場所:開架 南館2階

## 私のすすめるこの1冊

田中 多佳子 (音楽科 教授)

### 『小泉文夫』

ひの まどか (著)

民族音楽学者の小泉文夫(1927-1983)は、その短い生涯の間に、インドから国内のわらべうたや沖縄・奄美諸島の民謡のみならず、シルクロード、アラスカやグリーンランドのエスキモー(今日のイヌイト)、西アジア、アフリカ、東ヨーロッパ等々、まさに世界の音楽を精力的に調査し、その成果は次々に、講義し、メディア発信し、膨大なドキュメンテーションや資料・文献を残した。今日、音楽の教科書に掲載されている「世界の音楽」の大半は小泉が日本に紹介したものだ。「金銭欲・名誉欲・出世欲が一切なく」(妻の言)、当時、西洋音楽の砦たる東京藝術大学の教員であっても、歯に衣させぬ率直な発言を行いそのままに行動した。

その生涯については、既に、妻でソプラノ歌手だった加古三枝子<sup>1</sup>や小泉門下の岡田真紀による著作<sup>2</sup>があるが、今、ここで本書を選んだのは、『バッハ』『ベートーヴェン』『シューベルト』…『バルトーク』と続いてきた「音楽家の伝記 はじめに読む一冊シリーズ」の流れの一冊として発行されたという衝撃的事実による。著者のひのまどかは、東京藝大出身のヴァイオリニストだったが、執筆業に転じ、多くの作曲家の伝記や小説、音楽解説などを著して受賞歴もある。先輩として存在は知っていたが、本書から、社会人として10年間、小泉先生公認の「もぐり」としてその講義に通っていたことを改めて知った。

私ごとで恐縮だが、実は私も東京学芸大在学時から、講義を聴講したり、ゼミの一員として沖縄民謡調査まで参加したりしていた、公認「もぐり」の一人だった。今では考えられないことだが、当時、先生の講義には、他学科・他大学の学生はもちろん、到底「学生」らしからぬ風体の方々もつめかけ、教室はいつも超満員で異様な熱気に包まれていた。私は1982年4月に大学院の入学試験を無事通過して「もぐり」を脱し、正式な小泉門下となれたのも束の間、1983年8月、先生は、がんで急逝してしまった。その後、私は、2年間のインド留学を経て復学し、アルバイトから小泉文夫記念資料室勤務の助手となって、その膨大な研究資料の整理を本学着任まで10年間続けた。私には今なお大きな影響力を持つ偉大な師匠であり憧れである。

このように、小泉文夫は決して「音楽家」ではないので、一般に想像される『音楽家の伝記』からはかなりかけ離れていよう。しかし、音楽や民族音楽学にさほどの関心がない方にも、実在の一人の人間が、あらゆる常識や偏見と闘いながら、生涯をかけて世界の音楽を追究し続けた情熱的な冒険物語は、きっと誰の心にも何かを残すものと思う。

<sup>1</sup> 加古三枝子『人生を駆けぬけて—回想の小泉文夫』音楽之友社、1985年。

<sup>2</sup> 岡田真紀『世界を聴いた男—小泉文夫と民族音楽』平凡社、1995年。

## 第5回教育展「大学の授業～理学編～」

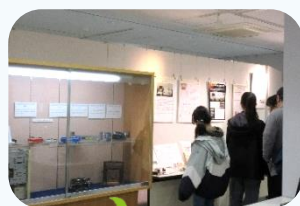
「大学の授業～理学編～」と題して、京都学芸大学学芸学部から京都教育大学教育学部へと続いてきた理学科の歩みを、大学が保管している教具・装置・器具・資料などの展示を通して紹介します。

物理学・化学・生物学・地学・理科教育学の5つの分野で、過去から現在に至る教育の変遷をご覧ください。

【会期】11月10日(金)～12月27日(水)

【時間】図書館の開館日時に準じる

【会場】附属図書館 北館1階企画展示室



開催中です。  
見に来てね！

報告:<関連イベント>  
サイエンスワークショップ  
開催しました！

11月11日(土)  
おいを科学する  
～こだわりの香水づくり～



11月12日(日)  
新しい理科実験！  
マイクロスケール実験を  
体験しよう



## 学修相談カウンター

京教の先輩が勉強や教育実習など、いろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？ぜひ気軽にお立ち寄りください。

【時間】授業期間の平日 2～4限のうち該当の時間

【場所】北館 2階 ラーニングcommons

時間が合わない、いきなり対面相談は緊張する、...などの場合はフォームでの相談も受け付けています。

※詳しくは図書館ホームページにて



図書館は、いつもみなさんの「まなび」を応援しています。



QRコード  
からもチェック  
してみてください。



## 「ミニ講座」のお知らせ

大学院生の学修支援員による、ミニ講座を実施します。各自の得意分野や研究紹介、教員採用試験対策の事例紹介など、さまざまな企画を予定していますので、ぜひお問い合わせの上お越しください！

【日程】12月4日(月) 2限(11:00～11:30)

「私の教員採用試験対策」

【場所】北館 2階ラーニングcommons



## 朝日新聞クロスサーチの未契約オプションコンテンツトライアルを実施中！

10月2日(月)～12月31日(日)の間中は、オプションコンテンツが利用できます。

ぜひ勉強や研究に役立ててください！

## 令和4年度利用統計

サービス統計		R4 年度	R3 年度
入館者数		64,330 人	59,028 人
貸出冊数		21,508 冊	20,710 冊
うち学生への貸出		18,191 冊	17,894 冊
図書貸借	依頼	128 件	56 件
	受付	139 件	115 件
文献複写	依頼	353 件	345 件
	受付	340 件	388 件
複写枚数(学外・学内)		8,479 枚	8,324 枚
レファレンス(参考調査)		774 件	991 件

蔵書冊数	R4 年度	R3 年度
図書	467,449 冊	460,944 冊
うち開架図書	328,574 冊	323,266 冊
雑誌	6,854 種	6,688 種
新聞	13 種	13 種



図書館を、どんどん  
活用してくださいね！



京都教育大学  
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第39回のお知らせ

12月中旬YouTubeのみ公開予定  
【講師】亀田直樹(理学科 講師)  
【テーマ】地学(地理)分野の指導は  
ジオパークを使って

※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください！



<概要> ジオパークは2023年5月現在、国内で46地域あり、地形・地質から人間の未来の営みを考えるエリアのことで。したがってジオパークでは保護、教育、持続可能な開発のすべてを含んだ活動をしており、ユネスコの正式プログラムになっています。小～高校理科の教科書に登場するにもかかわらず、高校で地学や地理を学ぶのは一部の生徒に限られるため、ジオパークの存在自体が教員養成課程の学生に知られていないことがわかっています。

本講座では、国内のジオパークで見られる火山や地震など、小学校でも教材となりうるものを具体的に紹介します。京都にある「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」にも「プラタモリ」のように触れます。地域の魅力を再発見してみてください。

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会  
後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

職場体験:報告

京都市立藤森中学校2年生がチャレンジ体験で、10月30日(月)から11月2日(木)の4日間、図書館資料の装備や、カウンターでの貸出・返却などの仕事を体験しました。最初は少し緊張した様子でしたが、最終日には仕事に慣れたようでした。

ご協力ありがとうございました。

児童書コーナー (南館1階)

幼児教育科主催  
えほんの moi

今月の絵本カード(学生作)  
『さむがりやのサンタ』  
作・絵:レイモンド・ブリッグズ  
出版社:福音館書店



※児童書コーナーに  
かわいいカードが  
飾られていますの  
で、ぜひ見に来て  
ください。

電子書籍の試読とリクエストができます

実施期間:10月16日(月)~12月15日(金)  
丸善雄松堂提供 Maruzen eBook Library の電子書籍  
10万点以上が5分間全文試し読みできます。  
対象のタイトルには **試読** ボタンがついています。  
もっと読みたい!と思ったら **リクエスト** ボタンから購入  
の依頼をしてください。  
なお、購入するかどうかは、紙の本のリクエストと同じ選定基  
準で行います。

リクエストと投票で話題の本を読もう

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です!リクエスト  
や投票にぜひ参加してください!  
投票期間は **12月4日(月)~2024年1月22日(月)**

保育士試験対策コーナー

保育士試験に関連する絵本・紙芝居を集め展示しました。  
【期間】11月30日(木)~12月9日(土)  
【場所】南館1階 児童書コーナー

冬季休業に伴う長期貸出について

学部生:12月8日(金)~12月27日(水)  
院生・教職員:11月24日(金)~12月15日(金)  
【返却期限日】2024年1月15日(月)

附属幼稚園の遠足について:報告

10月31日(火)の附属幼稚園の遠足で、園児と保護者が附属図書館に来てくれました。親子で一緒に、児童書コーナーで絵本を読んだり館内ツアーに参加したりして過ごしてもらいました。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【12月の開館日時】  
4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月) 14:00~17:00

好評開催中!  
第11回京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー  
2023年9月23日(土・祝)~  
2024年3月25日(月)まで  
※本学は連携参加大学です。

教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **榊原 禎宏** (教育学科 教授)

### 学校における靴制度と児童生徒の学校生活—京都市立小・中学校の事例から—

榊原 禎宏・中尾 茜

京都教育大学紀要 2023, No.143, pp. 15-27  
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9819>



みなさんは自身の学校生活をどんなシーンとして思い出すでしょうか。友人や教員のこと、あるいは音楽室や理科室、はたまた運動場やプールでの経験を挙げる人がいるかもしれませんね。学校生活は、教職員という人的資源、教育課程や教具教材、あるいは校舎や教室などの物的・財的資源とこれらが生み出す環境から成り立っています。

こうした学校は、法律や行政などの根拠や理由が明らかな制度に支えられる一方、なぜそうなのかの説明は難しいけれど、「見えにくい」制度が同時に存在することも認められるのです。「背の順」での整列という仕掛けは、この好例でしょう。本論文は、その一つとして上履きや下足とも称される靴制度に注目し、京都市立小・中学校 214 校での実際を調べてみました。また、同小・中学校を卒業した 121 人にアンケートを実施し、在籍時の状況とその受け止めに聴きました。

その結果から、小学校がすべて上履きのある二足制に対して、中学校は 64 校中 23 校、三分の一程度であり、反対に下履きだけで学校生活を過ごす一足制が過半数に上ること、また小中合同での学校運営協議会を設置する 40 校のうち、二足制で揃っているのは 15 校に過ぎないことが明らかになりました。くわえて卒業生の回想から、一足制、二足制それぞれゆえの実態とその受け止めが鮮明なことも実証しました。つまり、「なんとなく」存在する制度が、児童生徒の学校生活に少なからず影響を及ぼしていること、あるいは、小中一貫教育の推進等が謳われながら、これを支える制度への着目が必ずしもなされていないことを指摘できます。学校生活を思い出しながら、いろいろな制度がそこにあったのではないかと、「隠れたカリキュラム」とも捉えながら考えてもらえれば嬉しく思います。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 143 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

### 開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2023年12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

12/2 学校推薦選抜入試  
12/23-1/4 冬季休業

2024年1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1/5 授業再開  
1/13-1/14 共通テスト

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>  
(QRコード →)



京教図書館 News No.279 (2023年12月号)  
発行日:2023年12月1日  
編集発行:京都教育大学附属図書館  
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp